

RPPCメール

リサイクルポート推進協議会

第318号(平成22年1月27日発行)

=====

(RPPC 活動予定表)

1 / 29 技術開発部会

10:00 ~ LEN 貸会議室「西新橋」

=====

(リサイクルポートに関連する最新の情報)

1. リサイクルポートの充実強化に向けた取組
2. 重要港湾等主幹課長会議を開催
3. 第2回国際コンテナ戦略港湾検討委員会を開催

=====

(リサイクルポートに関連する最新の情報)

1. リサイクルポートの充実強化に向けた取組

国土交通省港湾局は今年度、「リサイクルポートに関わる制度的な問題解決」と「リサイクルポートの充実強化」への取組を進めている。港湾局では昨年度に循環資源の海上輸送実証実験を実施し、現状でのリサイクルポート港湾の利活用における課題や廃棄物処理法上での問題点等を整理した。

今年度は同実験結果も踏まえて、リサイクルポートの管理運用のガイドライン策定に向けて準備中であるほか、循環資源の取り扱いに関する規制の改善を進める。

このうち管理運用のガイドラインではリサイクルポートごとに異なっている港湾の管理運用ルールを共通化する方向で各港湾管理者と協議を行っている。

また循環資源の取り扱いに関する規制の改善では、輸送事業者の連合を一定の要件に基づいて認定し、規制緩和措置を適用する仕組みの導入などについて関係省庁と意見交換中。

【港湾空港タイムス】

-----

2. 重要港湾等主幹課長会議を開催

21年度第2回の「重要港湾管理者等主幹課長会議」が1月22日、国土交通省で開かれた。新政権下における初めての主幹課長会議の開催になる。公共事業予算の大幅削減や補助制度の抜本的見直しとなる社会資本整備新交付金制度の導入など、大幅な政策転換が進む中で、港湾に関わる新たな施策の方向や動きについて港湾局の各担当課から説明があった。

会議では林田港湾局長が国土交通省の港湾行政に関わる最近の動きや考え方について説明。「港湾の政策手段については従来の枠組みに捉われない発想が必要と考えている。各管理者の方々の段階でとどめることなく、積極的に提案していただきたい。対応可能な内容であれば、従来の制度を変えてでも検討していきたい」と述べ、大臣の方針も踏まえつつ、港湾施策の一層の充実を努めていく、との考えを示した。

【港湾空港タイムス】

3. 第2回国際コンテナ戦略港湾検討委員会を開催

国際コンテナ戦略港湾検討委員会(委員長・黒田勝彦神戸大学名誉教授)の第2回会合が1月21日、国土交通省で開かれた。

同委員会では国際コンテナ戦略港湾を新たに選択するにあたっての評価項目、選定基準作成に向けた検討を行うことになっている。今後は当日の議論も踏まえて、選定基準を固め、2月上旬にも公募を開始、今年6月頃に「国際コンテナ戦略港湾」を選定、次年度の予算要求に反映していくことにしている。

当日は黒田委員長が、国際競争力を向上させるための成長戦略の必要性、近隣諸国との港湾競争力が一層激化する中で、加速度的に船舶が大型化しており、こうした状況下での対応を図る必要がある、我が国産業の国際競争力を維持し、アジアの活力を成長の原動力としていくためには、更なる選択と集中をした上で、港湾の環境整備に取り組む必要がある、と挨拶した。

【港湾空港タイムス】

#####

発行者:RPPC広報部会

部会長:本野 晃郎 パシフィックコンサルタンツ(株)

部会員:藤原 敏光 五洋建設(株)

門脇 直哉 新日本製鐵(株)

座間味 康喜 東京都

リサイクルポート推進協議会事務局

(財団法人 港湾空間高度化環境研究センター内)

担当:首藤、吉野、大田

URL:[www.rppc.jp](http://www.rppc.jp) E-mail:[rppc@wave.or.jp](mailto:rppc@wave.or.jp)

会員主催や会員に関係した催し物(セミナーなど)の情報がありましたらご連絡下さい。

開催案内等の情報をメールマガジンで配信いたします。

メールマガジンに対する意見、要望がありましたらご連絡下さい。

#####